教育目標：「自ら学び　心豊かで　たくましく生きる児童の育成」
大道っ子像：　◎よく考え 進んで学ぶ子(知)
◎明るく 思いやりのある子(心)
◎ねばり強く たくましい子(体)

R３年１月５日

第１３号

大道小学校 学校だより

絆

文責
大道小学校
校長
大城美千代
TEL917-3308
FAX917-3348

「児童の皆さんへ『本気になる！』」

新年あけましておめでとうございます。いよいよ二〇二一年の幕開けです。新年に当たり、皆さんはどんな目標を立てましたか。新しい年にふさわしい自分の良さを見つけ、さらに伸ばしていけるように、強い信念と決意を持ちましょう。

二学期は、六年生は五十四日、一年生から五年生までは五十五日しかありません。本当にあっという間です。一日一日を無駄に過ごしてはいけません。

学期とは、小学校時代の最後の（結び）となります。残された五十四日で、自分にできることは何か、学校の為に何ができるのか、中学校に進級する準備はできているか等々、卒業を迎える前にじっくりと考えてみて下さい。

また五十五日で、自分にできることは何か、仲間や下級生に残すことは何か、学校の為に何をすべきか、卒業する先輩（せんぱい）のために何か、真剣に考えなければ。

準備はできているか、仲間や学級のために何かできることは何か、次の学年に進級するために、何か等々、真剣に考えなければ。

本気になって色々なことに挑戦し、頭も心も体もピカピカに磨きましょう。

そこで、皆さんに、「本気」という詩を紹介します。「あなたは本気ですか」と言われる人。

みなさんにはそんな人になって欲しいと期待します。

また、今年も、コロナ感染対策を徹底し、「自分の身は自分で守る」「大切な人に感染させない」「感染した人を差別しない」この三点を強く意識して行動して欲しいと切望します。

本気

本気ですれば
大抵（たいてい）のことができる
本気ですれば
何でもおもしろい
本気でしていると
誰かが助けてくれる

たった一言が
人の心を傷（きず）つける
たった一言が
人の心を暖（あたた）める

強い心がないと
生きていくのがむずかしい
しかし
暖（あたた）かい心がないと
幸せにはなれない

「先生方へ『結びに！』」

いよいよ二学期後半のスタートです。あると同時に、次年度の準備という意味では「ゼロ学期」とも言われたりします。

コロナ禍ではありますが、本校では「大道っ子の新しい生活様式」を徹底し、「学びの保障」と「子どもの心のケア」に重点を置きながら「学校行事」も知恵を出して実施してきました。

二学期後半。学習面では、教科書の内容の積み残しがないように、お願いします。授業の一時間一時間の準備をしっかりと行い、どの児童にも「わかる授業」を行うことは教師の使命です。

また、生活面では、「新しい生活様式」の徹底と基本的な生活リズムや仲間との関係性が良好か、悩みはないかなど、一人一人の子どもの目線で真摯に向き合って下さい。

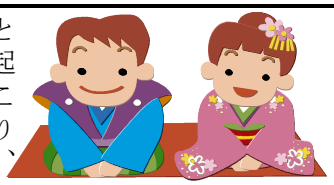
「この学級で良かった」「この仲間で良かった」「この先生で良かった」「この学校で良かった」と児童が心から思えるような二学期後半の「結び」を期待します。

子供も保護者も、教師に「完璧な人格者」を期待しがちです。しかし、教師も人間ですから、失敗もすれば、悩みもします。

それでも、本気になって子どもと向き合えば、子どもの心に小さな種が宿り、きっといつかは理解し合えます。「絆」が生まれると信じます。

二学期後半の五十五日。この結びの学期後半を「終わりよければすべて良し」の有終の美で飾りましょう。

「保護者の皆様へ『感謝！』」



保護者の皆様、二〇二一年が幕開けしました。保護者・地域の皆様の限りないご発展を、心より祈念致します。

また、「一年の計は元旦にあり！」と申します。人各々に見る夢は違うでしょうが、毎年、年頭の決意をすることは大切な事だと思います。

今年はオリンピックが開催されると良いですね。人々の心に勇気と希望の光を灯してくれることでしょう。

令和二年は、新型コロナの感染拡大の影響で、私達の生活が一変しました。予測困難なことが次々と起こり、「危機管理意識」の重要性を実感した一年でした。

コロナ危機を乗り越えるためには「学校と家庭」が連携協力し、一体となって、子ども達の安全・安心な生活を守っていくことが必要不可欠だと考えています。

皆様のお力添えが先生方のやる気に繋がり、子ども達の充実した学校生活に結びついています。感謝すると共に本年も本校の教育活動にご理解とご協力を宜しくお願い致します。